

いしきの まき

No.
58

議会だより

平成30年11月13日発行

第3回定例会	2
各常任委員会審査報告	4
23人が一般質問で市政を問う	9

『ものうふれあい祭2018 はねこ踊りフェスティバルin桃生』



第3回例会

条例や補正予算など53件を可決

平成29年度一般会計決算を認定

平成30年第3回定例会は、9月6日から27日までの22日間の日程で開催されました。今定例会では、平成29年度石巻市一般会計などの決算認定2件、条例や補正予算など市長提出議案53件が提出されました。審議の結果、決算は認定され、提出議案はすべて原案のとおり可決等されました。

第3回定例会に提出された

議案と審議結果

決 算 (認定)

- 平成29年度
- 石巻市一般会計及び各種特別会計決算認定について
 - 石巻市病院事業会計決算認定について

予 算 (原案可決)

- 平成30年度
- 石巻市一般会計補正予算(第5号)
 - 石巻市下水道事業特別会計補正予算(第2号)
 - 石巻市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)
 - 石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第2号)
 - 石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
 - 石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 - 石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

条 例 (原案可決)

- 石巻市学校施設整備基金条例
- 石巻市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市立学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例
- 石巻市桃生スポーツ施設条例の一部を改正する条例
- 石巻市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 石巻市かわまち交流拠点条例の一部を改正する条例
- 石巻市都市公園条例の一部を改正する条例
- 石巻市営住宅条例の一部を改正する条例

そ の 他 (承認)・(原案可決)

- 専決処分報告並びにその承認を求めることについて(石巻市建築基準等に関する条例の一部を改正する条例)
- 財産の処分について
- 石巻地区広域行政事務組合規約の変更について(工事請負の契約締結について)
- (仮称)鮎川浜地区観光物産交流施設建設工事
- (仮称)雄勝中心部地区観光物産交流施設建設工事
- (流留真野沢田線道路改良(その2)工事)

人 事 (異議がない)

- (南浜雨水排水ポンプ場及び流入管築造工事)
- (石巻工業港運河線道路新設工事)
- (石巻南浜津波復興祈念公園整備工事)
- (大街道小学校校舎老朽化対策工事)
- (中里小学校校舎老朽化対策工事)
- (二俣小学校水泳プール改築工事)
- (河北中学校校舎老朽化対策工事)
- (仮称)石巻市複合文化施設建設工事
- (仮称)石巻市複合文化施設建設電気設備工事
- (仮称)石巻市複合文化施設建設機械設備工事
- (釣石橋橋梁災害復旧(その2)工事)
- (湊川橋橋梁災害復旧(その2)工事)
- (おしかホエールランド災害復旧工事)
- (西流下単釜雨水幹線築造工事)
- (仮称)ささえあいセンター建設工事
- 工事請負契約の一部を変更する契約の締結について(西流下1号中央準幹線污水管渠築造工事)
- 工事請負契約の一部変更について
- (23年災名振漁港海岸保全施設災害復旧ほか整備工事)
- (23年災長渡漁港災害復旧(その3)工事)
- (23年災折ノ浜漁港海岸保全施設災害復旧ほか整備工事)
- (湊東地区土地区画整理事業地内雨水管渠築造工事)
- (下釜南部地区土地区画整理事業地造成道路築造(その2)工事)
- (23年災北上漁港海岸保全施設災害復旧工事)
- 公有水面埋立に関する意見について 2件
- あらたに生じた土地の確認について 2件
- 字の区域を変更することについて 2件
- 市道路線の認定について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の変更にについて

人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて

三浦直人氏を推薦することに異議がない

第3回定例会で議決した議案の中から

可決された条例の中から

◆石巻市学校施設整備基金条例

- 国庫補助金等により整備した学校施設を、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」に規定する処分制限期間内に処分する場合には、当該補助金の一部を、国庫へ返納することとされているが、返納すべき補助金相当額以上の額を学校施設整備のための基金に積立てすることにより、その返納が生じないことから、本条例を制定するもの。

◆石巻市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

- 指定地域密着型介護老人福祉施設の居室の定員を見直し、一部多床室の整備を可能とすることにより、利用者の施設選択の多様性に対応するとともに、経済的負担の軽減を図るため、本条例の一部を改正するもの。

◆石巻市かわまち交流拠点条例の一部を改正する条例

- 石巻市かわまち交流拠点内に整備した「石巻市かわまち交通広場」が本年10月に供用を開始する予定となったことから、本条例の一部を改正するもの。

可決された補正予算の主な中身は

今回の補正予算は、旧門脇小学校震災遺構の整備に係る設計、石巻駅前にぎわい交流広場の整備、雄勝中心部地区の伝統産業会館の災害復旧のほか、北上にっこり地区の拠点施設の整備に要する経費などについて、所要額を措置したもの。

また、東京オリンピック・パラリンピックに向けた復興「ありがとう」ホストタウン事業による交流の推進、ホタテ養殖の生産者に対し、緊急的な支援を行うための補助金のほか、市内全域を対象としたブロック塀等実態調査の経費などについて、所要額を措置したもの。

◆総務費では

- ・復興「ありがとう」ホストタウン事業における交流推進に要する経費
- ・旧門脇小学校震災遺構の整備に要する経費
- ・住民票等の旧姓併記に係るシステム改修に要する経費

◆民生費では

- ・民間保育所の増築に対する補助金
- ・北上地区放課後児童クラブの整備に要する経費

◆農林水産業費では

- ・みやぎの畜産雇用創出推進事業費補助金
- ・わかめ養殖・販売促進事業費補助金
- ・ホタテ養殖業緊急支援事業費補助金

◆土木費では

- ・祝田地区の内水排除用のポンプ設置等に要する経費
- ・長面地区低平地の排水対策にかかる盛土造成に要する経費
- ・石巻駅前にぎわい交流広場の整備に要する経費
- ・危険ブロック塀等の実態調査及び改善指導に要する経費
- ・スクールゾーン内にある危険ブロック塀等の除却に要する経費

◆消防費では

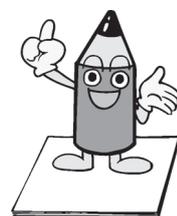
- ・石巻市消防団桃生地区団の全国消防操法大会出場に係る出場団員等の訓練及び派遣等に要する経費

◆教育費では

- ・学校施設の計画的な整備を目的とした基金を設置するもの
- ・(仮称)市民文化ホール建設基金費(積立金) 4月～5月に採納した寄附金を基金に積み立てるもの
- ・稲井テニスコートのトイレ復旧等に要する経費

◆災害復旧費では

- ・北上小学校の災害復旧に要する経費
- ・北上総合支所の災害復旧に要する経費
- ・河北消防署北上出張所の災害復旧に要する経費



各常任委員会審査報告

9月7日の本会議で、決算や条例、補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。
各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介いたします。

条例・補正予算等審査

総務企画委員会

平成30年度石巻市一般会計補正予算(第5号)について

Q 復興「ありがとう」ホストタウン事業におけるホストタウンになるメリットについて伺う。

A 2020年の東京オリンピックに向けて、オリンピック参加国との相互交流を図る機会として設立されており、相手国とさまざまな人事交流や経済交流を進めることができることである。

Q 本市がホストタウンとして認められてもらうための条件について伺う。

A 相手国との確約が必要である。本市においては、内閣府

に対してチュニジア共和国を相手国とする登録申請が承認され、本年5月にチュニジア共和国に訪問した際に内閣府の関係者とともに、相手国の当事者と交流を行っており、今後はオリンピック大会開催前後も含めて、大会関係者及びチュニジア共和国の当事者と交流を進めていきたい。

Q 旧門脇小学校震災遺構整備の進捗状況と完成時期について伺う。

A 進捗状況については、9月1日に基本設計案の住民説明会を実施し、その際あった意見をもとに、基本設計を取りまとめている状況である。完成時期については、基本設計段階の諸条件を勘案するとさまざまな条件をクリアしていかなければならないが、現段階では来年度を目指している。

環境教育委員会

石巻市学校施設整備基金条例について

Q 該当施設について伺う。

A 今回の基金条例制定は飯野川第二小学校の売却に伴うものであるが、同様に、閉校施設のうち文部科学省の国庫補助金を受けて整備した建物は9棟あり、そのうち処分制限期間を経過していない建物は5棟である。

Q 基金の使用範囲について伺う。

A 文部科学省から通達があり、その用途は当該地方公共団体の公立学校の工事請負費を伴う施設整備費などである。

Q 学校へのエアコン設置と基金の活用について伺う。

A 市内には小学校33校、中学校19校があり、すべての普通教室への設置は、経費を考えるとすぐに進められる状況ではないが、まずは来年度に保健室で使用できるように設置したいと考えている。当該基金については、学校施設整備工事に活用可能だが、今回の保健室への設置については時間的余裕がないことから、修繕で進めようと考えているため、基金の活用を行わない。

Q 今年の夏に熱中症の疑いになった子どもたちの数について伺う。

A 4月から7月末までに熱中症の疑いのあった人数は、260人である。

Q エアコン設置の費用について伺う。

A モデル的な学校を設定した1室の見積もりでは、270万円程度であるが、複数の教室への設置となると、高圧電源設備の交換等も必要になり、更に高額になる。

北上小学校移転新築事業について

Q スケジュールについて伺う。

A 9月末までに実施設計が固まる予定であり、その後11月に入札、来年1月から工事を開始したいと考えている。工期は14カ月、平成32年2月に工事を完了し、4月から供用開始というスケジュールを進めている。



Q (仮称) 市民文化ホール建設基金費について

A 基金の総額について伺う。

Q 今年4月時点の総積立額が20億8307万97円であり、今回の寄附金を合わせ20億8734万4871円となる。

A 施設完成後の管理費の見直しについて伺う。

Q 博物館の管理を含め年間3億円程度の想定であるが、現在、劇場コンサルタントと使い方や管理などを検討しており、今後、精査して管理費を算出していきたい。

A 管理の方法について伺う。

Q 博物館は直営とし、博物館以外は指定管理を考えている。指定管理者の選定方法についても、劇場コンサルタントとの委託の中で鋭意検討していきたい。

保健福祉委員会

石巻市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

Q 第14条の2で「市長が必要と認められた場合」とは、どのような場合を想定しているのか伺う。

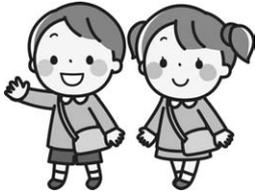
A 居室の定員は原則1人であるが、利用者において施設選択の多様性や個室と比較した場合の多床室料金の安さなどを考慮した中で、経済的負担の軽減を図ることを踏まえ、必要な場合は4人以下の多床室を一部設けることができることを想定している。



平成30年度石巻市一般会計補正予算(第5号)について

A 民間保育所建設助成事業補助金の事業内容について伺う。

Q のぞみ野二丁目にある民間保育所において、来年度より利用定員の増員を図るため、改修が伴うことから、保育所等整備交付金による増築分に対する補助である。



産業建設委員会

石巻市都市公園条例の一部を改正する条例について

Q 石巻トレーニングセンターの活用計画の策定について伺う。

A 石巻トレーニングセンターは石巻市総合運動公園内に建設され、利用者数は1日当たり50人、年間1万8000人を見込んでいます。土日は利用者が多いと思われるが、平日の利用者増を図る必要があるため、トレーニングの初心者や市民にも積極的に利用していただけるように、早急に活用計画を策定していきたい。

石巻市営住宅条例の一部を改正する条例について

Q 復興公営住宅の名称と住所の不整合性について伺う。

A 名称は市営住宅と同様に、原則、字名を使用することとしているが、今回の換地処分による字名の変更に伴う名称は、スケジュール等の都合により、1回で変更することは困難であったため、今後、入居者から強い要望があれば、名称と字名を同じにできるように検討する。

低平地整備事業について

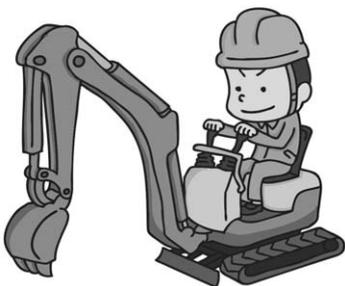
Q 工事請負費の減額理由について伺う。

A 一部の地区において事業間調整の結果、他事業、主に県事業の終了後にしか本事業が進められない状況にあることから、今年度分を減額し、来年度と平成32年度に振り分けを行っている。

防災集団移転促進事業について

Q 防災集団移転の地区数、団地数及び1区画当たりの平均整備費について伺う。

A 地区数は46地区、団地数は65団地、1区画あたりの平均整備費は、土地の買収費、区画整備費、取り付け道路整備費等を含めると、約5300万円である。



決算審査

総務企画委員会

平成29年度石巻市一般会計及び各種特別会計決算認定について

Q 地域づくりコーディネート事業補助金の交付を受けた団体が開催するイベントへのひとり暮らし世帯の高齢者の参加について伺う。

A 補助金は町内会に支出している。町内会にはイベントの機会を設けるだけでなく、イベント参加の声がけもお願いしているが、参加はなかなか難しいという方もいることから福祉総務課、民生委員及び社会福祉協議会と協議し、連携をとりながらいくらかでも孤立をなくしたいと考えている。

Q 復興住宅の住民に対し、イベント内容に関するアンケートの必要性について伺う。

A 町内会に対し、どのようなイベントが好ましいか住民の意見も聞きながら対応していただくようお願いしていきたい。

Q 防災行政無線屋外子局整備事業における現在の難聴地区とその解消について伺う。



慰霊碑の前に説明を受ける視察委員

A 現在の難聴地区は河南地区及び桃生地区の10数カ所である。今後、難聴解消に向けて総合支所と協議しながら整備したい。

Q 北上地区に建立された慰霊碑周辺の防災無線の設置について伺う。

A 北上地区住民との協議になるが、防災無線が聞こえない状況であれば、今年北上地区に設置予定の23基の中で対応していきたい。

環境教育委員会

遊楽館費について

Q 予算流用の要因について伺う。

A 冷暖房設備の不具合により費用がかさんだための流用である。

Q 他施設との収支バランスを含めた全体での使用料の均一性について伺う。

A それぞれの施設によって使用料が違う状況であり、予定される消費税の増税も含めて検討する必要があると考えているが、施設により維持管理経費に違いもあるため、バランスをとりながら検討していきたい。

学校給食費について

Q 収入未済額の内容について伺う。

A 昨年度分が小学校6校で41万1648円、中学校14校で131万1736円であり、以前のからの滞納額を含めると2983万9286円である。

Q 平成28年度と比較すると24万3039円増加しており、年々少しずつ滞納が増えている状況である。

Q 滞納への対応について伺う。

A 現年度分については、校長先生からの催告などにより学校から納入を促している。

滞納分については、負担能力等を調査し、負担能力がありながら滞納している者に対しては、法的な措置も検討していかなければならないと考えている。

Q 授業料等の収入未済額の内容と状況について伺う。

A 高等学校授業料は19万2922円、滞納者数は3人で滞納年度は、平成14年度、平成20年度、平成21年度分である。いずれも平成26年度から昨年度にかけて一部納入しており、相手方からも支払意思を確認している。

幼稚園保育料は8万1000円、滞納者数は2人で昨年度分の金額である。



雄勝小・中学校現地視察の様子

保健福祉委員会

平成29年度石巻市一般会計及び各種特別会計決算認定について

Q 医療型短期入所事業の利用実績と入所に向けた取り組みについて伺う。

A 本年1月1日から開始されたサービスであり、昨年度は1回、今年度は8月末で7回の実績であるが利用者は1人のみである。

なお、入所に向けた取り組みについては、あらかじめ診察を行い、入所に問題がないと判断した後に、半日程度の日帰り利用から徐々に1日入所、2日入所と段階的に進めている。



グループホーム ひまわりにて

障がい児・者歯科診療所の今後の整備について伺う。

障がい児・者歯科診療所の今後の整備について伺う。

Q 昨年12月からの診療開始であるため、1年間の使用状況を踏まえ、2市1町で協議、検討する必要があるが、すでに県から宮城県歯科医師会に対する補助事業で、診察ベッドを2台から3台へ増設すること、2市1町においては、障害者用トイレの改修について進めている。



障がい児・者歯科診療所にて

産業建設委員会

石巻市総合運動公園整備事業について

Q 天然芝多目的グラウンドの供用開始時期について伺う。

A 本年4月1日のオープンに合わせて供用開始を予定していたが、寒さの影響により枯れや育成不良が見られることから現在も養生を続けており、今後は状況を見ながら、第三工区が全面オープンする来年4月1日に供用開始したい。

Q トイレの設置状況及び仕様について伺う。

A 第三工区中央部分と多目的人工芝グラウンドの西側に1カ所ずつ設置しており、今後はこども広場と遊具広場の中間地点に更に1カ所設置する予定である。仕様は水洗式の多目的トイレであるが、広場に設置予定のトイレは、オムツ交換にも対応できるトイレの設置も検討していきたい。

Q 第三工区の維持管理費について伺う。

A 施設管理に伴う警備業務、清掃業務、自家用電気工作物保安管理業務、環境整備等の業務委託料約3683万円、光熱水費等の需用費約602万円等が主な内容であり、今年度の当初予算ベースで約4338万円である。

防災集団移転促進事業及び復興公営住宅整備事業について



総合運動公園（第三工区）現地視察の様子

Q 空き区画数及び空き戸数について伺う。

A 空き区画数は、新市街地が18区画、半島沿岸部が88区画、空き戸数は新市街地が145戸、半島沿岸部が20戸である。

Q 復興公営住宅の整備費用について伺う。

A 今年度整備分の見込み額を含めると、民間借り上げ住宅を除いた4234戸の事業費が約1072億6700万円となり、1戸当たりの平均は約2533万円である。



起立採決の様子（第180号議案 工事請負の契約締結について） 委員会付託省略

第3回定例会 起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏名	第180号議案 工事請負の契約締結について （（仮称）石巻市複合文化施設建設工事）		議席番号	氏名	第180号議案 工事請負の契約締結について （（仮称）石巻市複合文化施設建設工事）	
		委員会付託省略	原案			委員会付託省略	原案
1	佐藤 雄一	○	○	18	齋藤 澄子	×	○
2	高橋 憲悦	○	○	19	丹野 清	○	○
3	楯石 光弘	○	○	20	安倍 太郎	○	○
4	阿部 和芳	×	○	21	森山 行輝	○	○
5	阿部 浩章	×	○	22	阿部欽一郎	欠	欠
6	黒須 光男	×	×	23	渡辺 拓朗	○	○
7	奥山 浩幸	○	○	24	千葉 眞良	○	○
8	遠藤 宏昭	○	○	25	山口 莊一郎	○	○
9	大森 秀一	○	○	26	青山 久栄	○	○
10	阿部 久一	○	○	27	高橋 栄一	○	○
11	櫻田 誠子	○	○	28	西條 正昭	○	○
12	鈴木 良広	○	○	29	後藤 兼位	○	○
13	青木まりえ	○	○	30	水澤富士江	×	○
14	千葉 正幸	○	○		賛成	23	27
15	星 雅俊	○	○		反対	5	1
16	木村 忠良	-	-		欠席	1	1
17	阿部 正敏	○	○				

※ ○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席
 ※ 木村忠良議員は議長であるため採決には加わりません

議案の内容

第180号議案 工事請負の契約締結について
 [（仮称）石巻市複合文化施設建設工事]

- ・工事場所 石巻市開成1番8
- ・契約の方法 制限付き一般競争入札
- ・契約金額 金6,676,344,000円
- ・契約の相手方 大成建設・丸本組特定建設工事共同企業体
 代表者
 仙台市青葉区一番町三丁目1番1号
 大成建設株式会社東北支店
 支店長 平田尚久

9月7日の議案審議において、第180号議案について黒須光男議員から委員会に付託していただきたい旨の議事進行がありました。

委員会付託を省略することについて起立採決の結果、起立多数により委員会付託を省略することに決しました。

委員会付託省略の採決の後、提案された議案について、黒須光男議員が反対の立場から討論を行いました。

提案された議案は、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

一般質問

議員23人が登壇

市政を問う!

第3回定例会の一般質問は、9月20日、21日、25日、26日、27日の5日間行われました。今回は23人の議員が市政全般にわたり市当局の見解を明らかにしました。その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは、質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

一般質問通告一覧 (※議員名の前に付いている番号は質問順序です。)	
①黒須 光男 1 新蛇田地区復興住宅の建設工事における裏切られた性善説について 2 佐藤副市長が答弁した市職員分限懲戒審査会の報告書について 3 湊東地区復興住宅の建設工事における地盤改良工事の疑惑について 4 市庁舎1階の利用方策について	⑬水澤 富士江 1 防犯灯の地元負担軽減について 2 介護タクシー等助成券交付の所得制限廃止について 3 放射線被ばくと健康への影響について -放射能汚染廃棄物は拡散ではなく隔離保管を- 4 世界的流れである『原発ゼロ』へ
②遠藤 宏昭 1 市役所本庁舎1階の利活用について 2 新市街地の空き区画と復興公営住宅の空き室の現状と今後について	⑭阿部 正敏 1 石巻市新公立病院改革プランについて 2 北北上運河の果たすべき役割について 3 漁業者、水産加工業者、魚市場の現状について
③阿部 和芳 1 市長の政治姿勢について ~指定管理・派遣を含む職員育成~	⑮楯石 光弘 1 地域防災力の向上対策について 2 子どもの読書活動推進対策について 3 「こもれびの降る丘 遊楽館」のリボーン方策について
④佐藤 雄一 1 石巻川開き祭りについて 2 空き家対策について 3 高齢者の支援について 4 6次産業化について 5 小中学校の老朽化対策について	⑯青山 久栄 1 震災復興基本計画の発展期に於ける諸課題について
⑤齋藤 澄子 1 人口減少対策と子育て支援について 2 震災復興について	⑰青木 まりえ 1 JR石巻駅前の整備について 2 石巻工業港の港湾整備促進について 3 地域資源としての二ホンジカの有効活用について
⑥森山 行輝 1 石巻市の諸課題について	⑱千葉 眞良 1 サン・ファン・パウティスタ号の再建について 2 在宅被災者について 3 石巻市総合運動公園について 4 湊の諸課題について 5 人事課題について
⑦鈴木 良広 1 防災・減災対策における取り組みについて 2 観光政策に向けた取り組みについて	⑲後藤 兼位 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について
⑧奥山 浩幸 1 空き家対策と空き家活用について 2 市街化調整区域の規制緩和について	⑳櫻田 誠子 1 空き家対策について 2 森林環境譲与税について 3 子育て支援について
⑨千葉 正幸 1 放課後児童クラブ指導員の処遇改善について(その2) 2 石巻市農業担い手センターについて 3 シカ駆除における登米市との連携について	㉑阿部 久一 1 観光戦略について 2 まち・ひと・しごと・創生総合戦略について 3 住みたくなるまちづくりについて
⑩星 雅俊 1 前回議会までの答弁の進捗状況について 2 交流又は集客施設事業の入り込み客数及び開館時期に向けた管理運営や利活用の検討状況について 3 働く場の確保について 4 山下地区等のまちづくり課題について	㉒西條 正昭 1 東日本大震災からの復旧・復興加速そして完結について 2 石巻市立小中学生の学力向上対策と市立小中高等学校のエアコン設置について 3 「石巻市障害のある人もない人も共に安心して暮らせる福祉のまちづくり条例」と、ノーマライゼーションに対する石巻市政について 4 全国豊かな海づくり大会開催について
⑪阿部 浩章 1 本市を取り巻く全体的傾向と課題について(2025年に向けて) 2 本市の行政運営の現状と課題について 3 超高齢社会に向けた仕組みづくりについて	㉓高橋 憲悦 1 平成32年度で復興期間が終了するにあたり、新石巻市のまちづくり(新石巻市シティプロモーション)について
⑫山口 荘一郎 1 決算中心主義への転換について	



黒須 光男 議員

問 性善説を調べると「孟子いわく人間の本性は善であるとの説」とあります。

市政にあつては、この性善説が裏切られていません。市長の行政報告、復興事業部長の議会の答弁で証明されます。また新蛇田地区復興住宅の問題を調べる職員分限懲戒審査会では、平成30年3月31日に退職した当時の復興事業部長、同次長の2人を訓告処分しておりますが、悪事が動いたのは、平成26年4月1日、新部長と次長が就任した日に大和ハウスから3億4千万円の増額の要求文が入り、増額の出発点だったのです。処分された2人は、事情聴取されることなく処分されており違法であり撤回すべきです。

また、3億4千万円が増額されたのは、室数が増えたからとのことですが、同じ数を減らしており床面積も変動はありません。発電機設置及び水道（井戸）設置の仮工事があったというのですが、既存の道路隣りに復興住宅が建設されるもので、すでに電気及び水道があり、この二つは不必要な工事であるのです。

また、湊東地区復興住宅の3億8500万円が増額された地盤改良工事では、1500本の砂柱を打った、サンドコンパクション工事の全体がわかる写真と砂柱を打ったデータが、情報開示しても不存在というのです。これも架空であるのです。しかも募集要領では、プロポーザルで決定した希望価格を超えてはならないとなっているのです。当局の認識をお示しください。

答 募集要領では、希望価格を超えてはならないとなっていますが、これは募集要領をつくる際に誤ってつくったものであり、大変申し訳ございません。訓告処分したのは、運営委員会に諮らなかつたのと、あるべき書類が存在しないからです。



遠藤 宏昭 議員

・市役所本庁舎1階の利活用について

問 現在、行政庁舎として不足している分（執務室や会議室）を民間から賃借している物件は、どれほどあるのか。具体的な場所・月々の賃料は。

答 穀町の太陽生命ビル5階（監査委員事務局執務室）、同ビル1階（臨時会議室）、大街道西一丁目の草刈ビル2階（区画整理課執務室）、合わせて3箇所・月額約117万円。

問 市長が「商業スペース」にこだわり続けた結果、昨年5月に商業施設が撤退してから約1年4ヶ月以上の長きにわたり、シャッターが降りている寂しい現状のままである。

その間、2度にわたり「商業施設の公募」を行ったが、残念ながら手を上げる事業者は皆無。

時は流れ、社会は変化している。市長がビジョンを変更しても、なんら不思議ではありません。本庁舎1階を行政庁舎として利用すべきと提案しますが、見解は。

答 議員ご指摘の通り、行政庁舎として利用することも選択肢のひとつ。もう少しだけ商業施設の誘致に取り組みたい。

・復興公営住宅の空き室の現状と今後の対応について

問 空き室になった理由はどのようなものがあるか。空き室数はどれほどか。また今後、市民への一般募集は行われるのか。

答 入居後に親族との同居、施設への入居による退去など。空き室数は165戸。新年度からを予定しているが、前倒して募集したい。



阿部 和芳 議員

・市長の政治姿勢について

問 決算状況が提出され厳しい財政状況だ。財政収支比率が99・7%となり、さらに、石巻市立病院事業会計も経常損失が5億9千万円、当年度未処理欠損金が6億3千万円となっていて一般会計からの持ち出しを除くと10億以上の損失となり1日4・5百万円の損失となる。かわまち交流センター、ささえあいセンター等のハコモノについて、その後のメンテナンスやランニングコストなど財政運営はどのように考えるか。また、外部に庁舎として借り1千3百万円の家賃支払いを止め、利活用しにくい防災センターに危機管理課等に移し、指定管理を見直すべきだ。市民の要望する施設（キッズランド）と乖離している。

答 的確な財政運営を行っていきたい。

問 全国学力調査で、全国平均を下回った宮城県内の小中学生の中でも、秋田県と並ぶトップクラスが大河原町の小中学校、当市は。

答 これまで同様、各教育関係者と共に学力向上策に取り組んで行く。

問 損害賠償請求控訴事件に係る訴訟の和解について哀悼の意を表することと謝罪することが盛り込まれた。尊い命の大切さ、二度と起こしてはいけません。夢と希望のある石巻へ市民の心が温かくなるようなわくわくする石巻にするため二元代表制の一員としてチェック機能と提言を粉骨砕身行つてまいります。



佐藤 雄一 議員

・石巻川開き祭りについて

問 今年の総括を伺う。また、昨年のポスターにも掲載され今議会の議場コンサートに出演した萌江さんを「石巻ほや大使」に任命してはどうか。

答 おおむね好評であった。今後は土日開催という意見もあり、改善策を協議していく。石巻ほや大使の件は検討する。

・空き家対策について

問 どのような対策がされているか伺う。

答 本年1月から相談会を実施し、今年度から空き家の実態調査をしている。空き家バンクによる情報発信はまだしていない。

・高齢者の支援について

問 単身世帯の見守り体制について伺う。

答 民生委員・児童委員による訪問、住民主体によるサロン活動の他、希望する世帯に「緊急通報システム」を貸与している。

・6次産業化について

問 どのような取り組みがされているか伺う。

答 同地産地消センターを開設し、人材育成、商品開発、販路拡大等、支援を行っている。

・小中学校の老朽化対策について

問 河南西中の屋根がさびている。河南東中の坂の照明が少ないと常に言われている。今後の改善について伺う。

答 老朽化の進んでいる学校から順に毎年小学校2校、中学校1校、工事を実施している。照明については調査の上検討する。



齋藤 澄子 議員

・人口減少と子育て支援について

問 夏の30℃を超える異常気象に対し、小中学校へのエアコン設置を求める。小中学校のトイレの洋式の進捗は。

答 現在の小中学校へのエアコン設置は、普通教室の1・6%、特別教室7・5%です。来年の夏まで保健室へ設置。他の教室は、国の動向を踏まえて総合的に判断します。洋式トイレは、老朽化対策事業、その他で設置促進に努める。

問 国民健康保険税の子育て世帯減免の新設を。また、高校卒業まで医療費無料化、インフルエンザ予防接種への助成について伺う。

答 国民健康保険税は、所得の無い子どもも均等割りで課税に算定されている。仙台市では3割相当分を減免しているが、都道府県化に伴う県内の保険税率統一への動きを確認しながら進めます。高校卒業までの医療費無料化はせず中学校までの所得制限撤廃のみとなります。インフルエンザ予防接種への助成については、国の動向など注視します。

・震災復興について

問 在宅被災者への復興支援策の見直しについて伺う。

答 津波浸水区域被災住宅小規模補助金交付事業は、申請状況や訪問調査の結果を踏まえ、適宜見直しを検討する。

問 湊地区の復興格差解消に市の積極的施策と、交通弱者対策のその後は。

答 住居系の土地区画整理事業を進めている。医療施設の整備は補助制度を創設し促進を図る。交通弱者への対策は、関係機関と協力し対応策を研究する。



森山 行輝 議員

・石巻市の諸課題について

問 (1)聖火が松島基地に到着することになった件について、迎える側のイベント等の考え方や聖火台の今後について伺いたい。

(2)旧門脇小の震災遺構について、作業の進捗状況と今後の取り組み方について伺いたい。

答 ギリシャで聖火が採火された後、2020年3月20日「航空自衛隊松島基地」に到着することが決定した。到着した際のセレモニーは、IOCが行う。その後3月20日、21日の2日間、宮城県での展示となり、「南浜津波復興祈念公園」に展示できるよう宮城県に要望していく。分火、保管は難しい。「復興の火」の出発地として、全世界に向けて復興の姿の発信、支援に対する感謝を伝える良い機会と考えている。聖火台の後釜には、モニュメント等の設置について関係者と協議したい。

「旧門脇小学校の震災遺構」の作業の進捗状況については、「震災遺構検討会議」、住民説明会、門脇町内会との意見交換会を実施し、住民ワークショップの意見を踏まえ基本設計のとりまとめ作業を行っている。これまで3対2で残す案が話し合いにより、等分としたこのことにより初期の予算が2千万円の増額となり、ランニングコストは1千万円を見込んでいます。遺構保存の取り組みについては、劣化がこれ以上進まぬように一定程度の対策はしていくが、現状で25年大丈夫である。震災遺構として保存していくことで未来に引き継いでまいりたい。



鈴木 良広 議員

・防災・減災対策の取り組みについて

問 防災ラジオの販売を行っているが、PRが足りないのでは。人の集まる場を提供していただき、販売会を積極的に開催したり、市役所内でも各階の目立つ場所に置いてPRを行ってはどうか。

答 昨年、イオンで防災フェアを開催の折、確かに防災ラジオが多く販売された。現在も総合支所には置いていたが、より一層市民の目に触れる場所に置いて周知に努めたい。

問 本年6月に発生した大阪府北部地震の際に、ブロック塀の倒壊により幼い命が奪われる痛ましい事故が起こった。断じて同じ被害を繰り返してはいけない。市の安全対策はどのように行われているか。

答 市民の生命、身体に危険を及ぼすおそれのあるブロック塀や石塀について改善指導し、さらに市内の道路に面して設置されているブロック塀、石塀等を対象に実態調査を本年度内に行う。「スクールゾーン内危険ブロック塀等除去事業補助金」もさらなる啓発促進を図る。

・観光政策の取り組みについて

問 地域の特産品（水産物や農畜産物）を生かした大規模な食のイベントを開催してみたいかがか（地元食材によるB・1グランプリ・テーマを決めた料理コンテスト・地元食材を一堂に会した食彩まつりなど）。

答 9月8日にオープンした石巻市かわまち交流センター等を生かしながら、イベントなどの企画・検討を行い、さらなる特産品の普及活動に取り組みでまいりたい。



奥山 浩幸 議員

・空き家対策と空き家活用について

問 空き家対策特別措置法の条文に明記された目的には、地域住民の生命、身体または財産の保護、空き家等の活用促進がある。法律の制定により、空き家の放置を抑制する効果がある。今後は、当市の空き家対策計画が重要となるが、空き家の適切な管理を所有者に義務付け、指導規定を盛り込んだルールが必要ではないか。「空き家条例」について伺う。

答 条例により特措法の規定を補完する必要性について、空き家計画の策定に向けた実態調査や専門家等の協議の中で検討していく。

・市街化調整区域の規制緩和について

問 都市計画法では、無秩序な市街化を防ぐという目的から行われてきたが、地域の活性化にとつてマイナスイメージもあり、地域コミュニティの衰退、更には崩壊の危険性という大きな課題を抱えている。規制緩和の要件について、連たんの考え方や基準等は、当市の実情に合った独自の基準を設けることができるのではないか。

答 実態に合った生活環境、周辺の公共施設の整備なども含め、住民の意向、市全体の施策など総合的に勘案した中で進める。区域指定は大きな影響があるので、今後更に研究していく。



真野川の風景



千葉 正幸 議員

・放課後児童クラブ指導員の処遇改善(その2)

問 放課後児童クラブ民間委託の指導員は通勤手当が支給され、市がパート職員として雇用している指導員は通勤手当が支給されていない。この不公平な取り扱いはどのように思うか伺う。

答 平成32年度から会計年度任用職員制度が法制化され、条例にも規定することになるのでパート職員に対する処遇を精査していく。

・石巻市農業担い手センターについて

問 農業は経営基盤となる土地が必要となるが、首都圏や市外からの移住者を積極的に受け入れ新たな担い手を確保したい思いも理解できるが、農協や農業改良普及センター、農業委員会等と一体となった連携がなければ目的達成は困難であり、まして担い手センターは民間委託となっているので、市はもっと汗を流して取り組んでほしい。

答 農業関係団体と連携を図るために、石巻市農業再生協議会を組織しているので、その中で一体的に取り組んでいく。

・シカ駆除における登米市との連携について

問 桃生町檜崎地区から登米市柳津橋まで、北上川西側の、山の頂を境に石巻市と登米市に分かれており、石巻市のシカ駆除は猟犬による追出し作戦だが、登米市に逃げ込まれ効果的な駆除ができないので、この登米市区域を石巻市の駆除区域に含められないか伺う。

答 石巻市の猟友会が登米市から捕獲許可を得る必要があるため、登米市と協議を重ね、効果的な駆除を検討する。



星 雅俊 議員

・前回議会までの進捗状況について

①子育てしやすいまちづくり
放課後児童クラブ指導員の研修や巡回指導員の配置、手当付き主任制の検討状況は。

②地元企業への発注状況
公共工事の分離発注率と日本下水道事業団発注工事の地元請負率は、

市の分離発注率は、30%。日本下水道事業団発注工事の地元請負率は、34%。

地元企業の受注状況が低すぎるのではないかと検討する。

・働く場の確保について

平成23年度震災以降の企業誘致状況を伺う。28社の512人。

水産加工業への支援や企業誘致のインセンティブとして、復興特区の税制上の特例措置の期限を「平成33年以降も延長」と国に要望するべきと検討する。

・山下地区等のまちづくり課題について

「旧三角茶屋から仙石線ガード」までの間狭路で危険、道路拡幅や電柱移設等が必要。道路改良の採択する際の考え方は。

交通量の増加、歩行者の安全対策等を総合的に検討している。拡幅工事は、想定工事費約40億円で用地確保が困難。電柱移設や歩道部分のカラー表示を検討する。大型車両の通行規制も検討する。



阿部 浩章 議員

・本市を取り巻く全体的傾向と課題について（2025年に向けて）

人口が減少し税収が減る、地域の担い手がいなくなり限界集落化することが推測されるがこの現状をどう考えるか伺う。

地域の存続に関わる深刻な問題と受け止めている。市内の人口流動が深刻な状況である。地域自治のエリアの修正が必要と思うが見解を伺う。

16地区で立ち上げを目指している、地域実情の把握、分析を通して見直しが必要となった場合は、エリアの修正も検討する。

・本市の行政運営の現状と課題について

行政効率を高めていくためには、各種事業についてPDCAサイクルにより評価検証を循環的に繰り返していき、事業の改善、見直しを図る必要があると思うが見解を伺う。

最上位計画である総合計画をはじめ、各種個別計画も含めて、一元的な評価検証の在り方について検討し、各種事業の改善を図り行政効率を高めていきたい。

・超高齢社会に向けた仕組みづくりについて

地域本来の力を引き出すことで「人と地域をまると元気なまち」というのが、地域自治システムの目指すところではないかと考えるが見解を伺う。

人のつながり・結びつきが、地域の活力を生み、まちを元気にする。活力ある地域コミュニティの形成は、地域自治システムの目指すところと考えている。

「人と地域をまると元気」に、地域によっては切り口が違うが、行政も縦割りを超え、地域や私たちと一緒に取組むことを提言する。



山口 荘一郎 議員

・決算中心主義への転換について

今年の重点事業でさえも、決算の反省が3年連続で放置され、ついに決算金額が0円となった。事業単位で精査を強めるべきだ。

課題を把握しながら改善に努めることができず反省している。今年度は実績が改善され、取扱要項の改定も行う。取りこぼしが無いように丁寧に精査していく。

決算の成果・反省を重視して予算を策定する決算中心主義に考えを改めるべき。

コスト計算、セグメント分析は、早速研究に移る。

総務省から平成29年度までに固定資産台帳の公開を求められてきたが、石巻市の公開時期はいつか。

年内には公表したい。

定型業務のRPA（A-I化）で時間を大幅に削減した自治体もあるが、石巻市での導入はいつか。

既に労働時間管理など、一部で導入しており、先進自治体の状況をさらに注視する。

石巻市は教育費単独費の割合が低い傾向にある。教育は将来への投資であり、現在の投資額の低さ、将来の競争力の低さであることから、もっと教育に予算を割くべき。

できるだけ教育費に財源を確保してきたつもりであるが、数字を分析、精査していく。

学校普通教室へのエアコン設置について、段階的な設備更新計画も検討すべき。

エアコン設置に関する調査準備を進めている。できる部分での対応を含めて検討する。



水澤富士江 議員

・防犯灯の地元負担軽減について

問 高齢化や空き地、空き家が増える中、防犯灯の設置を求める声が増えているが、町内会の負担が重い。市の助成を強く求める。

答 地域での設置や維持管理の負担は大きいものとして認識している。LED化や電気料金の助成について、現在前向きに検討している。

・放射線被ばくと健康への影響について

問 入札で決まった、業務委託業者は、議会が附帯決議で求めた、実績のある業者か。

答 2社のJV、内1社が実績あり。市民の皆さまの中には、低線量被ばくや内部被ばくを心配される方もいることは承知している。処理に係る放射線量など情報の公開に努める。

・世界的流れである「原発ゼロへ」

問 女川原発再稼働の動きが大詰めを迎えつつある。世界的には、福島事故や安全対策のコスト上昇等から、脱原発、脱石炭が趨勢です。国内でも「原発廃止・エネルギー転換を実現するための改革基本法案が、原自連（小泉・細川元首相が顧問）や野党共同で提出されている。一方、政府は7月3日新たな「エネルギー基本計画」を決定した。原発を「重要なベースロード電源」と位置づけ、日本を原発依存社会へ逆戻りさせるものであり、言語道断である。日本でも、地域で再生可能エネルギーを循環させる経済、国づくり、地域づくりを進めるべきではないでしょうか。

答 現在の「原子力災害時における石巻市広域避難計画」策定に、5年間延べ20人の市職員の労力がかかっている。原発を含むエネルギー資源の多様性を確保していくことが重要と認識している。



阿部 正敏 議員

問 市立病院へ一般財源から繰入金10億円を超える財源の原資について。

答 国からの交付税措置が原資であり繰り入れ基準に沿って運用がなされている。

問 平成29年度1億6200万円の赤字について。

答 外来患者数が思ったほど伸びなかったことと療養病床40床の稼働率が30%と低迷したことが要因。

問 今年度の状況について。

答 眼科・耳鼻咽喉科を開設。石巻市立病院地域医療連携の会を開催し紹介率の向上に努め、療養病床の20床を地域包括ケア病床にして回復期の患者に充て現在患者数が伸び、病床稼働率も80%を超え順調に推移している。

問 北上運河の果たすべき役割について。

答 10月26日、27日全国運河サミットINみやぎが開かれ「運河沿線の震災復興の今」と題して全国各地から参加者が来訪して運河の活用方法について学び運河の活用について活かす。

問 水産加工業者の出荷が震災前の50%しか回復しない現状をどう捉えているのか。

答 販路の喪失、労働者不足、消費の低迷なども追い打ちになり多くの課題が山積している。水産関係者のみならず多くの知見を活用しながら課題解決に努力する。

問 数年で売り上げが震災前に戻る前提で事業計画を組んでいます。7年半を経過して売り上げがもどらない現状は企業努力だけで乗り越えられない。抜本的な事業計画の見直しを国に要望してほしい。

答 充分検討した上で事業計画の見直しについて国への要望を検討する。



楯石 光弘 議員

一般的に、地名を見れば、縄文時代以降の、先人の汗と涙の、激動の歴史がしのばれる。

・地域防災力向上対策について

問 防災センターは日常より市民の防災意識向上のために、より活用すべきと考える。

答 石巻地区の被災者が生の被災体験を述べ、支援に感謝し歌い踊った涙と笑いのミュージカルDVD等のメディアを防災教育の一環として活用を提案したい。

問 市民のための防災センターとして、より親しまれるためにも今後検討してみたい。

答 学校での避難訓練、子どもたちの安全確認は第一だが、教職員などの確認も大切と考えるが。

問 避難訓練実施報告書様式も検討したい。

・子どもの読書活動推進対策について

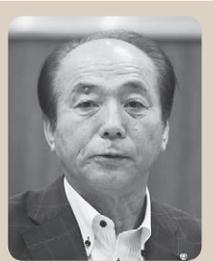
問 津波で亡くなられた先生のティラー文庫が広がっている。彼女は読書から日本へ来る夢を実現した。朝読書・知的書評合戦、学校司書拡充等総力を挙げて徹底すべき。本市の司令塔・読書活動推進計画は10年経っても、今だ、更新されないのは言語道断。読解力なしに学力向上もない。

問 関係機関と連携検証しながら進めたい。

・「こもれびの降る丘遊楽館」のリポート方策について

問 待望の多目的ふれあい交流施設も14年目に入り生まれ変わり方策が必要。楽しく遊ぶ館なのに遊具も少なく遊べない、また、雨漏りも19カ所に広がりがり早急な対策を。

答 ソフト充実、連携企画等、対応に努力したい。



青山 久栄 議員

・長面地区被災跡地の利活用について

問 市有地、民有地合わせて44ヘクタールの利活用案が定まっていない。早急に方針を示すべきであるが、それぞれが混在している状況では、効率的な整備も有効な土地利用もできない。地権者の土地を減らさない方向で土地交換を進めるべきではないか。

答 現時点では有効な土地の集約手法がなく、新たな制度の創設について国へ要望してまいりたい。

問 市有地及び全体の利活用について、腹案を示しながら地権者の協力を仰ぐべきである。例えば、農水系の研究機関や企業の誘致、被災により失われたコミュニティの回復や成人病を予防し、健康寿命の延伸を図るための大きめなパークゴルフ場の整備、市で実験栽培を進めているオリブの大规模な農園化等であるが市長の見解を伺う。

答 企業の誘致については、アドバイザー等への情報提供を行っている。パークゴルフ場については、検討を要するものの一方策ではあると思う。オリブについては土壌改良が必要であるが、風を遮れるということであれば、苗木の安価な入手方法も含め検討し、各案について地権者ともしっかりと話し合いたい。

・沿岸漁業の生産基盤強化について

問 水揚げが極端に落ちているアワビや鮭魚に対し、被災した生産施設が整備されることに伴い稚貝や稚魚放流等、増産を図るべきであるが所見を伺う。

答 地域特性にあわせ、漁業者と話し合っていく。

・津波浸水区域被災住宅小規模補修について

問 対象世帯数が多い割には申請者は極端に少ない。施工業者の枠拡大や期間延長を図れ。

答 申請期間の延長は状況を見て考えたい。施工業者については、現状で対応可能と考えている。



青木まりえ 議員

問 J R石巻駅舎内に待合所を、びゅうプラザ跡活用で要望は。

答 仙石線等の各沿線自治体等同盟会で、協議、要望。10月の同盟会で相談。

問 市役所1階は、いつまでに、どんな誘致。

答 年内目途に、生鮮品を扱うスーパを誘致中。

問 スーパーではなく、女性が喜ぶ専門店街に。待合所、市役所部署なども。

答 結果次第で参考に。

問 石巻工業港で大型客船寄港中止が3回も。港湾内の静穏度向上対策は。また、埠頭の施設整備は。

答 3回とも台風。静穏度対策で、南防波堤を延長中。また、ターミナルビル等、国に要望中。要望続ける。

問 初入港したダイヤモンドプリンセスの概要。おもてなしは。英語対応やガイド、また経済効果、クルーズマスター等の資格取得は。

答 乗客2714人の半数以上が英語圏。約600人がシャトルバスで元気いちばへ。タクシー他で市内各所へも。埠頭でお神楽等でお迎え、ペンライトでお見送り。英語の指示シートを市内配布。埠頭で英語ガイドも。経済効果は集計中。クルーズマスターはこれからの資格。

問 二ホンジカ対策室の取り組み、成果は。食肉加工した頭数、皮や角は。

答 7月現在396頭捕獲。うち90頭処理場に。60頭食肉に。皮や角は廃棄。

問 鹿皮は高級皮革。山梨県に伝統工芸品も。角は薬、飾り等、奈良県に伝統工芸品も。ぜひ、有効活用を。

答 有効活用できたら。



千葉 眞良 議員

・サン・ファン・パウティスタ号の再建について

問 再建にあたっての市の考え方について伺う。

答 復元船はサン・ファン・ミュージアムとして、慶長遣欧使節の偉業を継承するために必要不可欠であると考えており、あり方検討委員会の場におきましては、引き続き復元船の原寸大での再建について強く要望してまいりたいと考えております。

・石巻市総合運動公園について

問 運動公園内のキッズ公園はどのような形で、いつ頃完成するのか伺います。

答 現在、石巻市総合運動公園第三工区内によりよち歩きの幼児から小学校高学年の児童が安全でのびのびと自由に遊べる環境をつくるため、各年齢ステージに合わせた遊具を配置した「こども広場・遊具広場」の整備を進めております。現在のところ、遊具の基礎工事が完了し、遊具本体の工場製作中であります。

今後、遊具本体の取り付け、周辺施設の整備などを図り、来年4月1日から供用を開始する計画となっております。

・湊の諸課題について

問 湊西の区画整理の状況と企業誘致について伺います。

答 本年8月末現在、仮換地指定はおおむね完了、工事進捗率は約60パーセントとなっております。画地により一部完了してきており、本年度中に一部分譲を開始する予定です。



後藤 兼位 議員

・復旧・復興加速の課題と行財政運営について

問 旧北上川河口堤防整備の進捗状況は。

答 進捗状況は全体延長15kmの内72%に着手、全体の41%が完成し国は平成32年度の完成を目指す。

問 いしのみき水辺のpromenade計画について。

市長 石巻はまちの周り全体が運河、河川に囲まれ恵まれた地域だ。これを活かして行こうと進めてきた。今は賑わいを取り戻すことを中心にかわまちづくりを進めているが、これからは全体を見渡し観光交流計画を作成することが必要だ。河川堤防整備では、サイン計画がある。その中で賑わいや「歴史」を市民や観光客に伝えていきたい。

問 石巻南浜津波復興祈念公園の完成年度は。

答 中核施設は平成31年度まで、全体は平成32年度末完成。

問 オリンピックの聖火の受け入れまで間に合うのか。

答 中核施設は平成32年3月完成し、聖火を展示したい。

問 中瀬公園計画の整備概要は。

答 全域を公園化し、川と触れ合える親水空間や広場、観光や交流機能を兼ねた環境学習空間を整備、全体工事を平成37年度、平成32年度の概成を目指す。

主張 川村孫兵衛の歴史的功績をたたえる空間を設置すべきだ。

問 中浦橋釜北橋線交差点改良の完成は。

答 歩道拡幅部は11月下旬に完成、中浦橋上部工の拡幅工事は来年3月末完成。

問 釜大街道線の早期完成を目指せ。

答 復興交付金区間の用地契約は完了、平成31年9月末を目標に完成を目指す。



櫻田 誠子 議員

問 空き家の相談事業が今年から始まり市内全体の意向調査をはじめ対策が進んできたと思うが、今後の取り組みについて伺います。

答 相談会を4回開催し29件の相談中売却や解体に関するものが多く今後、協議会を立ち上げ危険空き家の対策など具体化していく。

問 石狩市において空き家取得支援を行い移住や子育て世代に大きな効果を生んでいる。

答 協議会を立ち上げその中で取得の支援、解体補助。跡地の利用についても決定したい。

・森林環境譲与税について

問 平成31年度から自治体への譲与が開始されるが今後の取り組みについて伺う。

答 石巻市の40%が森林であるが林業の低迷により適切な経営管理が行われなかった私有森林を国の制度で市が管理を行う趣旨を丁寧に説明し意向調査を行い効果的に取り組む。

・子育て支援について

問 不妊治療の拡充を評価するが流産を繰り返す不育症の治療、検査にも力を入れるべき。

答 不育症に対して理解促進を図り、治療の助成については今後検討する。

問 風疹流行で抗体検査の重要性周知必要。

答 就学時健診において接種の確認要請を行い、提案の任意接種ロタウイルス予防ワクチンの助成について子育て支援からも検討する。

問 低体重児出産に対し寄り添い支援すべき。

答 母子手帳の成長記録は標準値なので低体重児を出産した方が安心して子育てできるように母子手帳に合わせ別冊の作成など検討する。



阿部 久一 議員

・県内初「恋する大須崎灯台」について

問 観光パンフレットの作成、案内板等、観光戦略はどのように図るのか。

答 本市では認定記念カードを作成中であり案内看板は設置に向けて取り組んでいる。

日本ロマンチスト協会ではポスター、記念カンパッチやPRを兼ねたポケットティッシュを製作中でありまた、大須崎灯台に来てよかったと思ってもらおう仕掛けはぜひとも必要と考えている。

問 雄勝荒地区で発見された魚化石の観光戦略はどのように考えているのか。

答 案内看板の設置や恋する大須崎灯台と荒浜海水浴場の相乗効果による誘客の効果的なPRについて雄勝総合支所と協議しながら進めてまいりたい。

問 大型豪華客船の入港は交流人口の増加に即効性があることから、来年度は誘致計画を増やすべきであり市長自らもトップセールスに力を注ぐべきである。

答 自らトップセールスを行う等、誘致になお一層力を注いでまいる。

問 防潮堤に警報ランプを設置すべきである。

答 震度4以上の揺れに自動で起動する警報ランプを試験的に設置し性能を検証して本格的な設置に向けて検討する。



西條 正昭 議員

・東日本大震災からの復旧復興・加速完結について

問 全ての事業が、復興庁が店閉まいする平成32年度末まで終了するのか伺う。

答 職員の創意工夫と英知を結集させ、平成32年度に復興事業を完成させる強い決意で取り組んでいく。

問 石巻市立小中学生の学力向上対策と、市立小中高等学校のエアコン設置について伺う。

答 基礎・基本となる事項を確実に身に付けさせるよう指導するとともに、教員の指導力向上のための研修会を一層充実させていく。
保健室への設置については、来年の夏季に使用できるように進める。全ての教室への設置は、設置方法や発注手法等また、財源の確保を含めて総合的に判断していく。

問 「石巻市障害のある人もない人も共に安心して暮らせる福祉のまちづくり条例」と、ノーマライゼーションに対する石巻市政について伺う。

答 利用できる事業所は一部で、地域の偏在が見られることから、各事業所等への働きかけや、移動支援についても検討していく。
地域に暮らす障害のある方との意見交換を進め、関係機関等連携を図り地域格差解消に向け努力していく。

・全国豊かな海づくり大会開催について

問 発展期の最終年度となる2020年は、宮城県での開催である。「ロマン海都」石巻市は、大会のメイン会場として強力に誘致すべきであるが伺う。

答 9月13日に開催された宮城県実行委員会設立総会で「式典会場」「海上歓迎・放流行事」とともに、本市での開催に決定しました。



高橋 憲悦 議員

・平成32年度で復興期間が終了。新石巻市のまちづくり（シティプロモーション）について

問 ①市政を伝える市報「いしのまき」の充実について。（経過）これまで、市独自で編集制作を行っていたが、現在は業者に委託。市独自の手づくりでの市報編集を願うが。

答 ①記事の充実を図りながら、分かりやすく読みやすい紙面構成に取り組みたい。

問 ②行財政の見直しと職員の働き方・意識改革について。

答 ②行財政運営プランや公共施設等総合管理計画に基づき取り組み、市の規模に見合った適正な財政運営に努めたい。

問 ③複合文化施設をはじめとする公共施設の維持管理、運営について。（経過）今後の開設準備を東京のコンサルに委託しているが、地元で芸術文化の振興を担っている「石巻市芸術文化振興財団」と二人三脚で進めては。

答 ③指定管理者制度の導入を含めた適正な管理・運営の検討を進める。

問 ④市政運営の現時点での総括について。

答 ④（経過）市の最高峰の会議である庁議が、形骸化され、これまで発生した行政事件などを検証し、教訓にすることなく、報告事項のみが目立っており、庁議の充実を願うが。

問 ④市民、議員、職員と様々な角度から活発な議論を行い、市政運営をしていきたい。

石巻市議会豆知識



Q 採決とは？

A 議会の会議において、表決（議題に対して賛成、反対の意思表示をすること）をとる行為のことをいいます。

表決の結果得られた議会の意思決定を議決といいます。
意思決定の内容により、次のような種類があります。

- 可決…予算、条例、契約、意見書、決議、その他
- 認定…決算
- 承認…専決処分
- 同意…人事案件
- 採択…請願
- 異議ない旨回答…諮問

Q 討論とは？

A 議会の会議において、採決の前に議題となつている案件に対し、賛成か反対かの意見を表明することを行います。討論の実施に際しては、議長は最初に反対者を発言させ、次に賛成者というようになるべく交互に指名し、発言させる討論交互の原則があります。

常任委員会行政視察報告会を開催します

総務企画委員会

岐阜県 各務原市

- ・行財政改革の取り組みについて

滋賀県 長浜市

- ・地域づくり活動の取り組みについて

環境教育委員会

福岡県 古賀市

- ・日本一通いたい、通わせたい学校をめざす取り組みについて

福岡県 みやま市

- ・再生可能エネルギーを利用した資源循環型社会の取り組みについて

保健福祉委員会

福岡県 春日市

- ・放課後児童クラブの取り組みについて

長崎県 大村市

- ・地域包括ケアシステムの体制確立について

産業建設委員会

岡山県 玉野市

- ・港湾整備と利用促進への取り組みについて

香川県 土庄町

- ・瀬戸内国際芸術祭への関わりと観光戦略について

多くの皆様の傍聴をお待ちしております。詳細日時については、議会事務局へお問い合わせください。
※詳細が決定次第、議会ホームページにも掲載いたします。

石巻市議会議員と石巻を考える女性の会との懇談会

平成30年8月27日、「石巻を考える女性の会」（千葉陽子会長）のみなさんと『これからの石巻・希望ある未来へ向けて』をテーマに懇談会を開催し、女性の視点で、石巻市が抱える様々な課題について意見交換が行われました。

◆「主な意見」

- ・浜の居住者が大幅に減少している。漁業・水産加工業の活性化が必須
- ・保育所不足。女性の収入問題
- ・高齢者が元気に生き生きと生活できる支援を充実させる。
- ・インフラ整備の際、一般市民と行政の温度差がある。
- ・外国人観光客は増加。
※目的はキャッツアイランド（田代島）、観光プロデューサーが必要



市議会ホームページ

石巻市のホームページ内に開設しています。議会に関する様々な情報を掲載しています。議会の日程や「いしのまき市議会だより」で取り上げた内容等についても詳しくご覧いただくことができます。

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/d0100/index.html>

議会の動き

8月

- 1日 石巻川開き祭り「大漁踊り」
- 6日 千葉県千葉市議会行政視察来石
- 7日 北海道登別市議会行政視察来石
- 大阪府東大阪市議会行政視察来石
- 8日 佐賀県上峰町議会行政視察来石
- 9日 神奈川県議会行政視察来石
- 16日 福岡県久留米市議会行政視察来石
- 21日 ニュー石巻行政視察(～24日)
- 27日 石巻を考える女性の会との懇談会
- 28日 宮城県市議会議長会事務局長会議
- 29日 高知県議会行政視察来石
- 30日 石川県議会行政視察来石

9月

- 3日 議会運営委員会
広報広聴委員会
- 6日 第23回議場コンサート
第3回定例会開会(提案理由説明)
各常任委員会
総合防災対策特別委員会
- 7日 本会議(決算、条例案、予算案等審議)
- 10日 総務企画委員会現地視察
議会改革推進会議
- 11日 環境教育委員会現地視察
総務企画委員会書面審査
- 12日 保健福祉委員会現地視察
環境教育委員会書面審査
- 13日 産業建設委員会現地視察
保健福祉委員会書面審査
- 14日 産業建設委員会書面審査



- 18日 議会運営委員会
広報広聴委員会
毛利コレクション等広域歴史文化資料展示施設を推進する議員連盟
- 20日 本会議(一般質問)
- 21日 本会議(一般質問)
- 25日 本会議(一般質問)
石巻市スポーツ振興議員連盟役員会
- 26日 本会議(一般質問)
- 27日 本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)
議場コンサート実行委員会

10月

- 3日 ニュー石巻行政視察(～5日)
- 5日 神奈川県海老名市議会行政視察来石
- 10日 議会運営委員会行政視察(～12日)
東北市議会議長会事務局職員研修会
(～11日)
- 11日 神奈川県綾瀬市議会行政視察来石
- 15日 東日本大震災地域コミュニティ再生特別委員会
- 16日 宮城県市議会議長会秋季定期総会
- 17日 山形県河北町議会行政視察来石
- 18日 愛知県津島市議会行政視察来石
栃木県市貝町議会行政視察来石
- 22日 群馬県太田市議会行政視察来石
議会運営委員会
- 23日 総務企画委員会行政視察(～25日)
環境教育委員会行政視察(～25日)
保健福祉委員会行政視察(～25日)
産業建設委員会行政視察(～25日)
- 26日 福岡県春日市議会行政視察来石
- 30日 全国原子力発電所立地議会サミット(～31日)
広島県東広島市議会行政視察来石

『大漁踊り』に参加しました

8月1日の「石巻川開き祭り」の大漁踊りに、石巻市議会議員で参加し皆さまとともに祭り気分を十分に楽しみました。



石巻市議会

『第23回議場コンサート』

今回は、ポップスユニットの萌江&LIBOOのお二人に出演していただきました。
とても楽しく、元気になるひとときでした。

本会議・常任委員会LIVE中継(生中継)

視聴の仕方は、市議会ホームページの

『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。

(You Tubeを視聴する環境が必要です。)



※平成30年第4回定例会のLIVE中継(生中継)の配信予定は次のとおりです。

日 程	時 間	内 容
12月6日(木)	午後1時～	本会議(開会、提案理由説明)
12月7日(金)	午前10時～	本会議(条例案、予算案等審議)
12月11日(火)	午前9時～	総務企画委員会
12月11日(火)	午後1時30分～	環境教育委員会
12月12日(水)	午前9時～	保健福祉委員会
12月12日(水)	午後1時30分～	産業建設委員会
12月17日(月)	午前10時～	本会議(一般質問)
12月18日(火)	午前10時～	本会議(一般質問)
12月19日(水)	午前10時～	本会議(一般質問)
12月20日(木)	午前10時～	本会議(一般質問)
12月21日(金)	午前10時～	本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)

編集後記

今年の夏は、命に危険が及ぶような酷暑となりました。また更に地震、豪雨災害、台風など全国で大きな災害が続きました。被害にあわれた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

東日本大震災から7年半が過ぎましたが、災害はまたいつどのように起こるかわかりません。災害から市民の命を守ることは行政の役目です。市議会でも多くの議員が防災対策の重要性を訴えております。減災を推し進め、犠牲者を絶対に出さないようにするためには、震災を風化させない努力や地域ごとの細やかな取り組みがますます重要になってきております。市民の皆さまの防災、減災への取り組みが発揮できますよう市議会としても更に皆さまの声を生かしてまいります。これからも是非議会の傍聴をはじめ、「市議会なんでも懇談会」等にご参加くださり市政発展への貴重なご意見をいただきます様お願い申し上げます。

広報広聴委員会 副委員長 櫻田誠子

石巻市議会 『第24回議場コンサート』

市議会では、市民の皆様に、議会活動への理解を深めていただくために、議場コンサートを開催いたします。

※当日は、午後1時から、第4回定例会本会議が行われる予定ですので、この機会に併せてぜひ傍聴してください。

と き 12月6日(木)
第4回定例会初日
午後0時20分～午後0時40分

と ころ 石巻市議会議場
出演者 塚野 淳一
(チェロ奏者)

入場料 無料



DATA 市総人口：144,823人【男：70,436人 / 女：74,387人 / 世帯数：61,348世帯(平成30年9月30日現在)】